

## 第1回 尼崎市都市計画審議会公園緑地分科会 会議録

日 時 令和6年1月15日（月）13:15～15:00

## 議 事

## ○素案の審議

委員 概要版の最後のページだが、みんなで取り組む協働型事業の1例で「地域のエリアマネジメント支援事業について」を抜き出して掲載しているが、「営利イベントの開催等、自販機設置ができる」ことのみを記載すると、稼げるということが強調されて伝わってしまう。本編にはねらいに自治の促進、愛着促進、収益を公園維持に還元など記載があるが、概要版にも一言だけでも記載が必要なのではないか。

委員 ちょっと偏った印象を与える。本編 20 ページの前段部分を書いた方がいいのではないか。営利イベントや、自動販売機よりも、住民主体の賑わいづくりと地域活動の財源確保の支援など、そういう表現の方がいい。

委員 他の地域でも公園に民間が入ってしまうことへの懸念を聞いたりするのでそこだけ目立つ。

事務局 何のために営利を求めるのか、その部分をしっかり書くということだと思う。地域コミュニティを活性化する。その時に一定費用は発生し管理を適正にしないといけないので、それができるような仕組みを作りましょうね、ということが書いてあるが、その表現についての指摘だととらえている。手だてばかり書いてるので何々のためということを押さえて修正する。

事務局 20 ページの実施可能となる活動のところとねらいのところをセットで縮小して入れ込む。

委員 資料編 20 ページに緑化公園協会が関わっている公園ボランティアの記載があるが、一番グレードの高い「グリーンヘルパー」が抜けている。本編 30 ページには記載があるので同じような内容のものを資料編にもお願いしたい。

事務局 本編で紹介しているので資料編ではあえて記載していなかったが、片方だけしか記載がないのも見づらいので資料編の方に追加で記載する。

委員 俯瞰図の子育て支援の絵がお母さんと子どもの絵だが、子育てはお母さんがするものという先入観をあたえてしまうのではないか。

委員 むしろコミュニティ形成で使われている絵を子育て支援に持ってきて、コミュニティ形成の絵がこれでいいのかをうっすら思っていたが。

委員 コミュニティ形成は、若い子から年配の人まで楽しそうに集っているような絵がいいのでは。子育て支援のほうも男の子や女の子がたくさん集まっている絵のほうがいいのではないか。

委員 コミュニティ形成の方は、多世代で小さな子供におじいさんおばあさんもいるような何か集ってるような絵で、子育て支援の方は、大人が居ず小さな子どもが遊

- んでいるのか集っているのか楽しそうにしている様子の絵がいいのかもしれない。
- 事務局 こういうイラストを使うときには、固定観念的な、例えば、女性だと赤い服だとか、男性だからとか、子育ては女性だからとか、だめだと思う。ご意見いただいた中で再度チェックをかける。
- 委員 本編 26 ページのまちかどチャームング賞について追記していただいたが、写真 2 つとも民間による緑化の事例を入れているが、市民による緑化の活動で受賞しているものもある。市民活動は基本方針 2 の話にはなるが、このような活動を市でも表彰しているということをごどこかで入れられたらいいのではないかと思うと、2 つある写真の 1 つを活動部門の表彰事例に変えてもいいのかもしれない。
- 事務局 令和 3 年度のまちかどチャームング賞で、上坂部西公園におけるグリーンヘルパーの活動が受賞しているので、右側の写真をグリーンヘルパーのものに交換する。
- 委員 どこが受賞したのか少しわかるような情報をつけ足して右側の写真を変えて何の写真かわかるようにして載せる。
- 委員 資料 2 のパブコメ反映資料の 13 ページ、政策目標の目標値があるがリノベーションに取り組んだ大規模公園数が 7 か所から 8 か所に替わっているのはなにか理由があるのか。
- 事務局 もともと 5 年間で 7 か所、10 年間で 9 か所としていたが、10 年間で 9 か所できるとしていたうちの 1 か所が最初の 5 年間でやるという計画の前倒しがあり、最終的に 8 か所に増やしている。全体で 9 か所というのは変わっていないがスケジュールの前倒しを反映させた。

以上